

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	「いつでも、どこでも、だれとでも」を目指し、社会適応力を高め社会参加・社会貢献に向けて療育活動に励んでいる
	内容	コロロメソッドに基づいた集団療育により、個々のニーズに込えている。「いつでも、どこでも、だれとでも」を目指し、社会適応力を高め社会生活が送れるように支援している。地域の方々との繋がりを大切にしており、利用者一人ひとりが地域社会に参加・貢献することができるよう、地域主催の行事に積極的に参加し地域の方々との信頼関係を築けるように努めている。また、そのための療育活動に日々励んでいる。
2	タイトル	時代の流れ、職員のニーズから研修の形を変えて、より参加しやすい研修を実施している
	内容	係長主任会議で職員等の意見を吸い上げ、研修研究課で検討して多角的な研修を実施できるよう取り組んでいる。支援力向上に繋げるOJT研修(サービス提供現場での現任研修)に力を注いでいる。時代の流れ、職員のニーズから研修の形を変えて、より参加しやすいように検討して改善に努めている。また、一年目職員に関してメンター制度を設けているとともに、成長プランシートを作成し目標が具体化され達成度合いを測りやすい仕組みを構築している。
3	タイトル	法人全体で意識を高くして、リスクマネジメントに取り組んでいる
	内容	今年度は新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、専用の対策チームを組織した。法人全体で同レベルの感染予防対策と情報共有ができるように努めた。コロナウイルスに関わる情報を日々の引き継ぎや専用の情報ボードに掲示し、毎日の感染者数も掲示して全体の意識を高く保てるようにしている。具体的な対応方法や注意点などは研修という形を採り、予防対策に取り組んでいる。また、職員間の情報のやり取りを各個人でメールや無料通話アプリなどを使っていたが、セキュリティーレベルのツールに変え、ルールも明確にして情報流出防止策を強化している。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	利用者個々のニーズに基づき、社会参加・社会貢献へ向けて能力を発揮できるよう更なる支援をしていきたい意向を持っている
	内容	コロロメソッドに基づいた集団療育により、社会適応力を高め社会生活が送れるように支援している。より個々への働きかけが可能なグループホームの性質を活かし、利用者のニーズにもある就労などの社会参加・社会貢献へ向けて能力を発揮できるよう更なる支援をしていきたい意向を持っている。
2	タイトル	利用者の行動特徴を把握し、支援する技術を高めることを課題としている
	内容	未然に事故や怪我を防ぐには利用者の行動特徴を把握し、支援する技術を高めることを課題としている。パニックや問題行動の対応をする際に技術が不足し感情的になってしまったり、それを回避するためにもそもそも問題行動の起こらない支援が不可欠であると考え職員の支援技術向上に積極的に取り組んでいる。
3	タイトル	新たなリーダー層の育成が喫緊の課題となっている
	内容	職員一人ひとりの支援スキルや適性に応じた指導の仕方について、役職者の育成スキルにばらつきがあると感じている。人員不足ではあるが、それ以上に高い技術力を持ったリーダー層の不足が深刻化しているため、現在の現場のリーダー層の身体的・精神的負担は増加していると認識している。新たなリーダー層の育成が喫緊の課題となっている。